

# Windows NT v4.0 用の Cisco Aironet Client Adapter インストールヒント

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[使用されている割り込みの判別](#)

[ドライバのインストール](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Aironet Client Adapter Installation Wizard for Windows は、Aironet Client Utility ( ACU ) および関連ドライバのインストールを自動化し、システム リソースを調整して、ハードウェアが Windows と適切にやり取りできるようにします。このウィザードを使用しない従来のインストールの場合、代替りとなるインストール方法を使用する必要があります。Windows NT のプラットフォームで Cisco Aironet クライアント アダプタ カードをインストールする手順は、他の Windows プラットフォーム上でのインストール プロセスとは異なります。このドキュメントでは、クライアント アダプタ カードで使用される IRQ および I/O ポート番号を設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

読者は、Windows GUIとコントロールパネルに精通している必要があります。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、Windows NTバージョン4.0が稼働するプラットフォームに適用されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

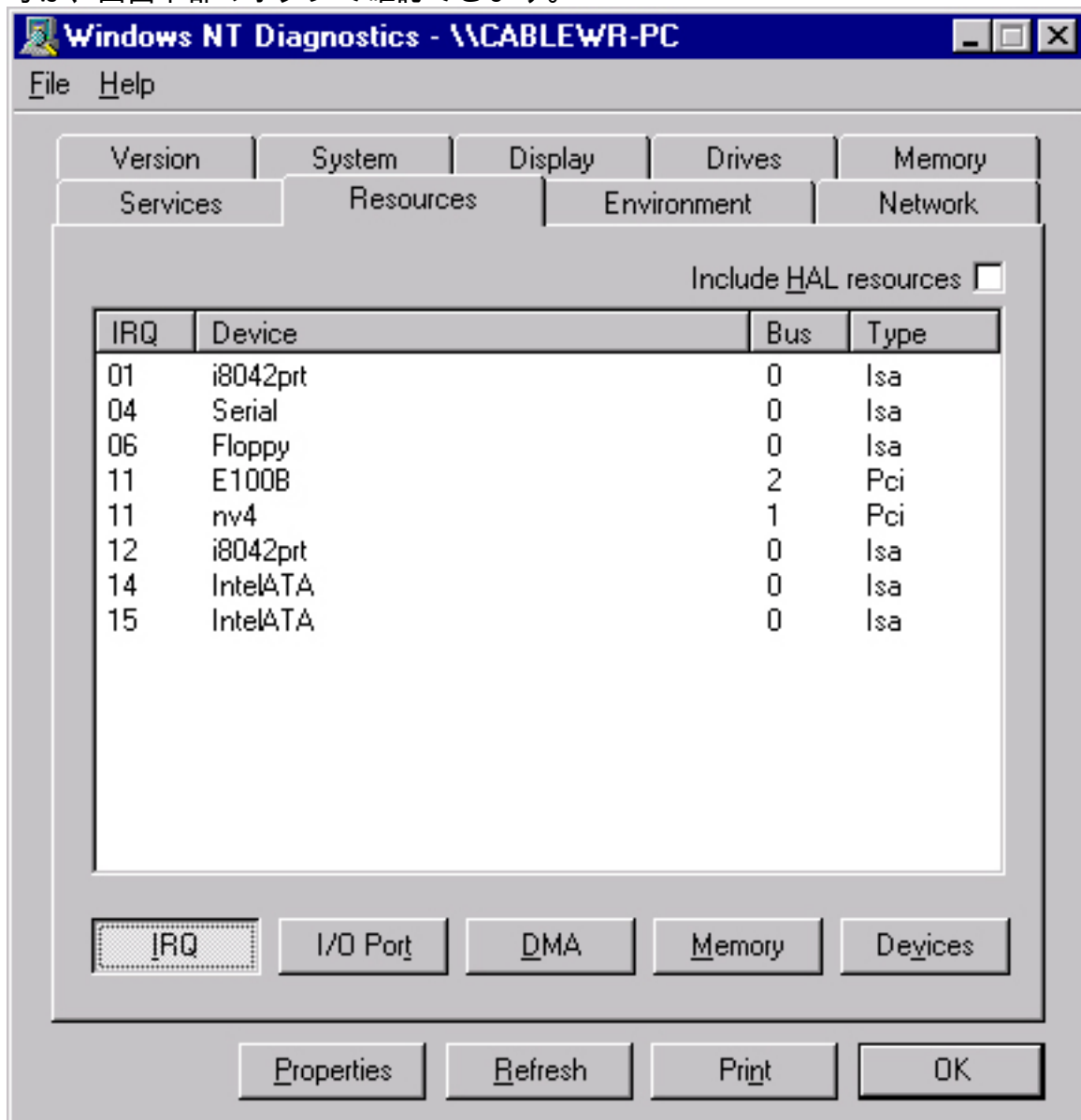
### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

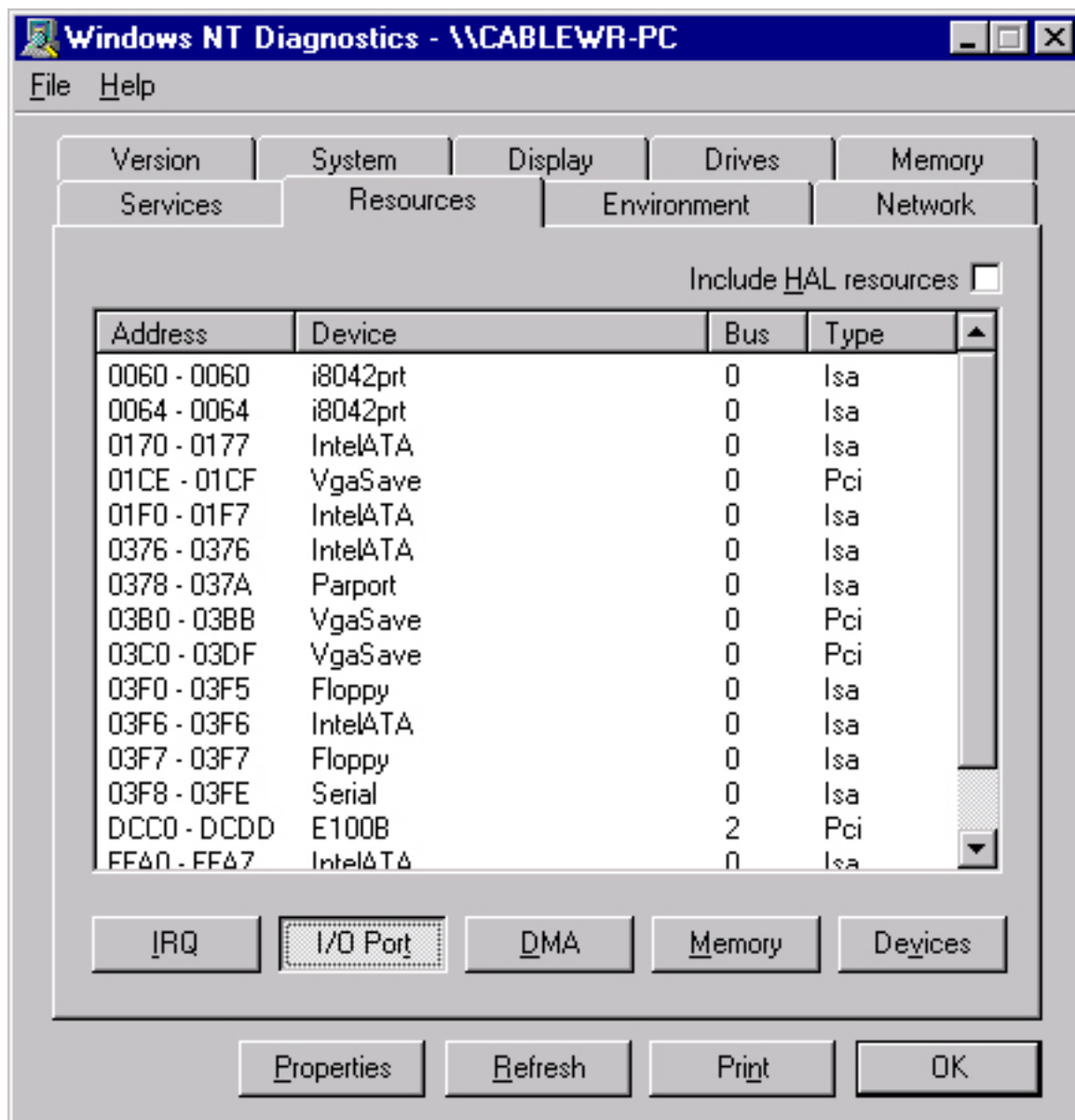
## 使用されている割り込みの判別

Windows NT v4.0はプラグアンドプレイをサポートしていないため、使用可能なIRQとI/Oポート番号を確認する必要があります。Windows NTでこれを実行するには、次の手順を使用します。

1. Start→ Programs→Administrative tools→NT Diagnosticsの順に選択します。
2. Windows NT DiagnosticsウィンドウでResourceタブをクリックします。IRQとI/Oポート番号は、画面下部のボタンで確認できます。



注：これは、Windows NTがレポートする番号です。これらはレジストリに設定されていません。



## ドライバのインストール

どのIRQとI/Oポート番号がすでに使用されているかが判明したら、使用可能なIRQとI/Oポート番号を選択して、Cisco Aironetクライアントアダプタカードで使用できます。たとえば、表示されているディスプレイでは、IRQ 10とI/Oポート100を使用できます。

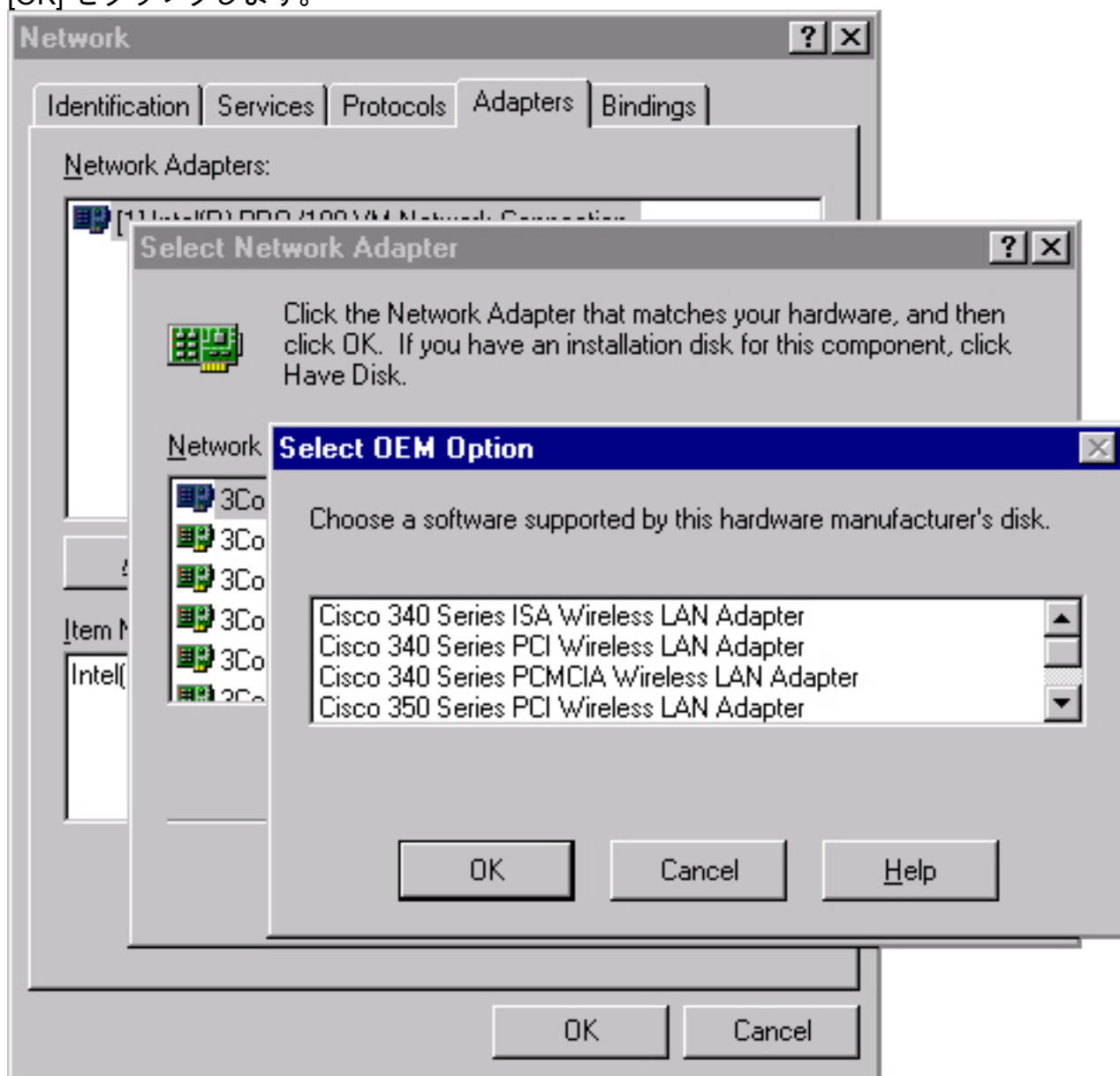
Cisco Aironetソフトウェアをまだダウンロードしていない場合は、Cisco Software Center - Wirelessページからダウンロードするか、Windows Driver & Utilityページに直接移動します。ドライバ自己解凍アーカイブをダウンロードしたら、フロッピーディスクまたはハードドライブのフォルダに解凍します。

**注：** ドライバをインストールしても、ファイルの参照を求めるメッセージは表示されません。ファイルの場所へのフルパスを入力する必要があります。したがって、フロッピーディスクにファイルがない場合は、ダウンロードしたファイルを覚えやすい場所(c:\tempなど)に解凍するのが最善です。

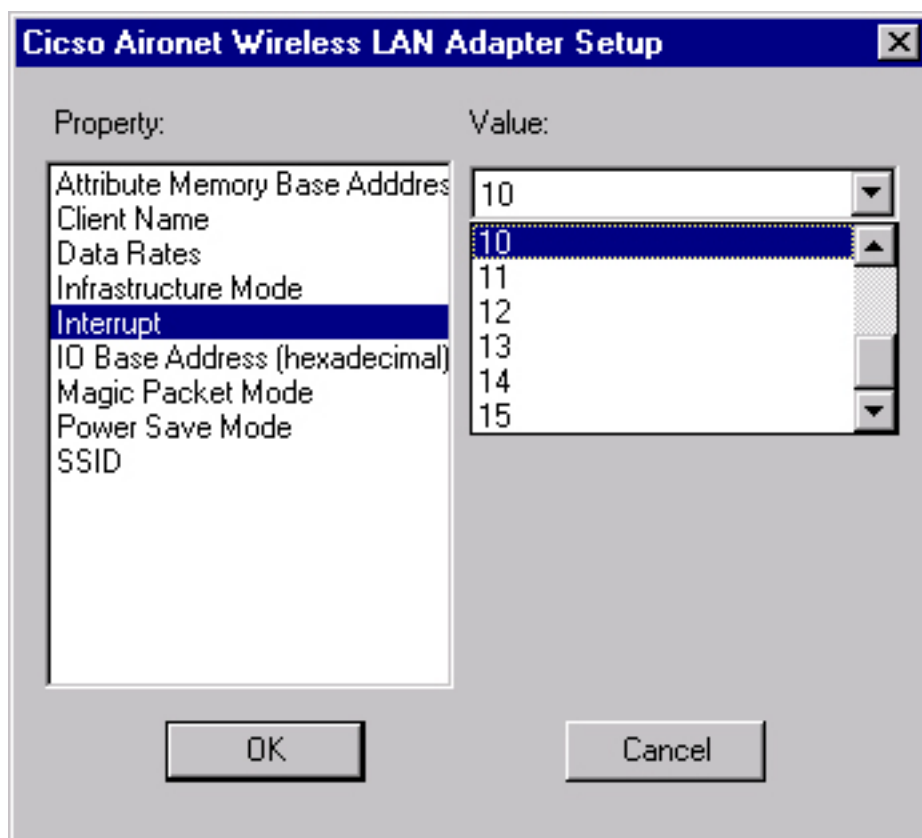
ドライバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. [開始]を選択します。
2. [設定]を選択します。

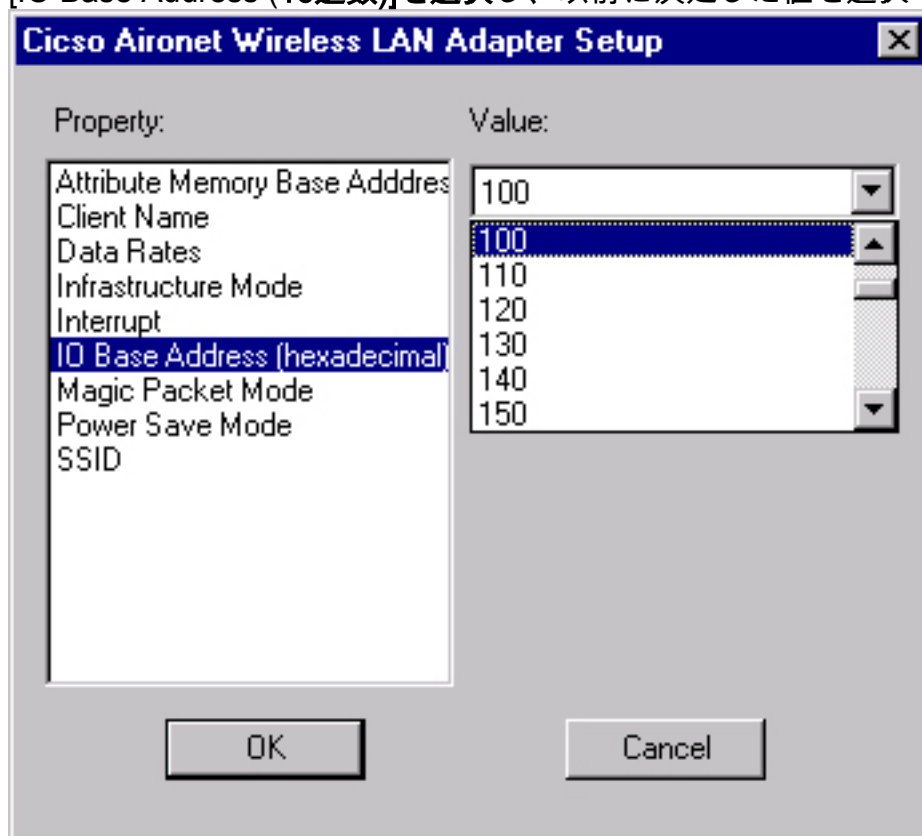
3. [コントロールパネル]
4. [ネットワークのプロパティ]を選択します。
5. [アダプタ]タブをクリックします。
6. [Add] をクリックします。
7. 適切なネットワークアダプタを選択するか、ディスクからドライバを選択するように求められます。[Have Disk] をクリックします。
8. ファイルの場所へのパスを入力します。
9. 表示される[OEMオプションの選択]ボックスで、クライアントカードに一致するアダプタを選択します。
10. [OK] をクリックします。



11. [アダプターのセットアップ]ウィンドウで、[クライアント名]を選択し、[値]ダイアログボックスにコンピュータの一意のクライアント名を入力します。
12. SSIDを選択します。[Value] ダイアログボックスで、大文字と小文字を区別するRFネットワークのSSIDを入力します。SSIDは、システム管理者から入手できます。
13. 「割り込み」を選択し、以前に確認した値が使用可能であることを選択します。



14. [IO Base Address (16進数)]を選択し、以前に決定した値を選択できます。



15. [OK]をクリックし、[閉じる]をクリックします。
16. [Microsoft TCP/IPのプロパティ]ウィンドウが開きます。開いていない場合は、[My Computer] -> [Control Panel] -> [Network] -> [Protocols] -> [TCP/IP] -> [Properties] を選択します。
17. 次のいずれかを実行します。コンピュータがDHCPサーバからIPアドレスを取得する場合：[DHCPサーバからIPアドレスを取得する]を選択します。DHCPを有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されたら、[Yes]および[OK]をクリックします。コンピュータが

DHCPサーバからIPアドレスを取得できない場合：[Specify an IP address]を選択し、システム管理者から取得できる次の情報を入力します。IP アドレスサブネット マスクコンピュータのデフォルトゲートウェイアドレス[OK] をクリックします。

18. コンピュータの再起動を求められたら、CDまたはフロッピーディスクを取り出し、[はい]をクリックします。ドライバのインストールはこれで終了しました。

## 関連情報

- [Cisco Aironet 350 シリーズ テクニカル ノート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)